

山根市民センターだより

令和6年(2024)
1月15日号 No.109

編集発行

山根市民センター

☎ 57-2055



本年もどうぞよろしくお願ひいたします

旧年中は山根市民センターの事業運営に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。皆さまのご協力により、少しずつ当市民センターの事業も再開され、賑わいが戻ってきております。今後も様々な活動に向けて取り組んで参りたいと思ひますので、変わらぬご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も職員一同どうぞよろしくお願ひいたします。

「市民生涯学習のつどい」展示作品貸出しのお願い

令和5年度「市民生涯学習のつどい」が2/3(土)～2/4(日)に開催されます。山根市民センター事業コーナーの展示用に、作品貸出しのご協力をお願ひいたします。

◆展示対象作品

- ・バードカービング (R5のマヒワ)
- ・クレイフラワー(R5の作品)
- ・編み物 (R4のひざ掛け)

◆提出期日

1月26日(金)までに山根市民センターへお届け願ひます。
※センターまで来られない方は、こちらから取りに伺ますのでご連絡下さい。

べっぴんカフェ1月の市 開催

今年も元気に頑張つて参りますので、引き続き応援よろしくお願ひいたします！

- ▶ 日 時…1月28日(日) 10:00～13:00頃 (※ 無くなり次第終了)
- ▶ 場 所…山根市民センター敷地内
- ▶ 内 容…とうふ田楽、軍配もち、ファーマーズマーケット ほか



山根地区区長会からのお知らせ

山根地区新春懇談会は今年度も開催を見送ることとなりましたのでお知らせいたします。



令和3年8月15日号以来、久しぶりの掲載となります。今回は令和5年4月より、地域おこし協力隊として着任・山根地区在住の新村 樹(にいむら・たつき)さんに登場していただきました。

山根暮らし、半年です

今年4月から引っ越してきた、新村樹です。木売内の素敵な家に妻の有希、猫の“ピノ”、“ノワ”と犬の“こはく”と5人で暮らしています。

私は長野生まれで18歳まで長野で育ちました。その後岩手を飛び越え、北海道で大学生活を送りました。そして今、岩手に来ました。長野→北海道→長野→岩手、となんだかんだ寒いところに住んでばかりいます。

山根は久慈の町中の方とはまた気候が異なると聞いています。例えば、夏はやませがないので暑いとか。確かに今年は暑かったです。玄関先の温度計で37度(!)を記録した日もありました。夕方5時で30度もある日もよくありました。さすが山根と思ったのですが、町中に行っても普通に暑い…。今年はやませがほとんどなかったそうですね。毎年のように「こんなのはじめてだ」とか「異常気象だ」という声が聞かれます。私の山根暮らし1回目の夏は異常が基準となってしまいました。

これから本格的な冬が来ますが、どんな冬になるのでしょうか。山根の冬は町中より寒くて、雪もたくさん降るそうですね。極端な気候にならないことを祈る日々です。水道管の凍結など、厳寒地ならではの問題への対処も色々経験しているつもりですが、アドバイスなどあればぜひお聞きしたいです。まずは半年、春と夏と秋を過ごしたところです。長い冬、楽しみたいと思います。

薪ストーブのすばらしさ

さて、山根に来てから大きく変わったものとして、暖房に薪ストーブを使うようになったことです。山根に来て驚いたのは、ほとんどすべての家々に薪ストーブがあることです。山形を含め、やはり山の方に行くにつれて薪ストーブの家が増えますが、山根は格別多い印象です。

薪ストーブ、初めて日常の中で使っていますが、非常に温かいです。温かいだけでなく、インテリアとしても存在感抜群。お湯も沸かせて料理もできる。機能性とロマンを兼ね備えた素晴らしいものですね。とはいっても、日常的に使うには苦労も多いことがわかりました。

薪を作って、乾燥させて、使う分を家の中に運んで。まだ慣れてないので、ストーブもこまめに見ています。でも、環境問題やエネルギー問題が叫ばれる今、近くの山から燃料ができるというのは環境負荷も低く、豊かなことだと思います。少しずつ、自分でもできることを増やしていきたいと思います。

